

「御食国若狭と鯖街道」の魅力を感じよう

■問い合わせ 文化交流課 ☎64・6019

平成27年に、国の「日本遺産」

第1号に認定された「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群」御食国若狭と鯖街道。

認定以来、市では日本遺産を生かしたまちづくりを進めるとともに、官民連携や市民主導による取り組みも盛んに行われてきました。

用語解説

日本遺産

地域に残る文化財や、今も息づく伝統文化、背景にある歴史的経緯などを「ストーリー（物語）」としてまとめ、魅力を国内外に発信することで、地域活性化につなげる制度。平成27年、全国各地の18件が第1号に認定されたのを皮

切りに、令和3年7月時点で104件が認定。小浜市は、平成27年に若狭町と共同で「御食国若狭と鯖街道」が認定されたほか、29年には、全国各地の48都市が含まれる「北前船舶主集落」に追加認定されました。

活用することで好循環に

文化財は従来、保存し後世へ継承することが重要視され、公開や改修などが制限されることも多くありました。

しかし現在は、積極的に活用し、自ら価値を生み出すことで、持続的な保存・継承につなげる、好循環をつくり出すことが必要となっています。

「日本遺産」という制度も、文化財の活用を進めることに眼目が置かれています。

日本遺産を生かした取り組み事例



国宝・明通寺本堂で音楽イベント（令和3年10月9日・門前）



鯖街道の道のりを実際に歩いて踏破を目指す「鯖街道ウォーキング」（平成30年5月12日・広峰）

「4つのストーリー」から構成

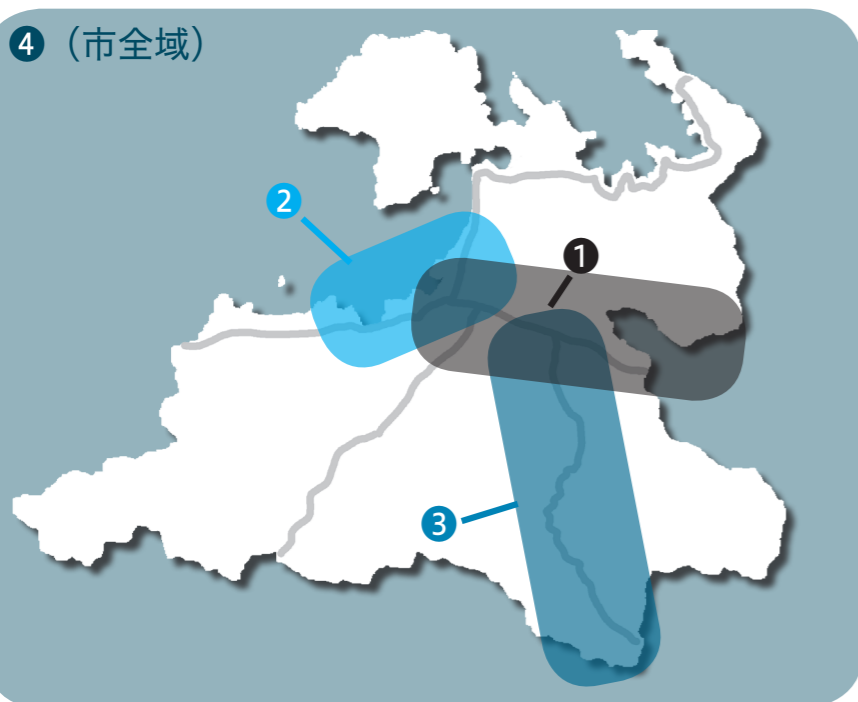
小浜には、京や奈良の都とのつながりや、海外にまで及ぶさまざまなヒト・モノの行き来によって生まれた文化や食、風習、町並みなどが、今なお残っています。

「御食国若狭と鯖街道」は、こうした文化などを、「鯖街道の起点」小浜・小浜の賑わいなどの4つのストーリーに分類。

互いに関連づけることで、その背景にある歴史や人の関わりなどを含む、奥深い魅力を引き出そうと、取り組みを進めています。

「御食国若狭と鯖街道」4つのストーリー

4 (市全域)



1 若狭街道
～御食国若狭の原点と鯖街道のメインルート～
【構成文化財】
岡津製塩遺跡、熊川宿（若狭町）など

2 鯖街道の起点
～湊町・小浜の賑わい～
【構成文化財】
小浜西組、祇園祭礼群、若狭塗など

3 針畑越え
～最古の鯖街道の歴史的景観～
【構成文化財】
遠敷の町並み、針畑越えなど

4 若狭の浦々に続く鯖街道
～都の祭りや伝統を守り伝える集落～
【構成文化財】
地藏盆、へしこ・なれずしの製作技法など

1 若狭街道 ～御食国若狭の原点と鯖街道のメインルート～

若狭町や琵琶湖沿岸を結ぶ「若狭街道」は、鯖街道の中でも最大の物流量を誇りました。

街道沿いには、古代の古墳群や近世の宿場町が点在しており、長期間にわたり物流を支えた要所であったことを物語っています。



御食国であった若狭地方には、「岡津製塩遺跡」をはじめ多数の製塩遺跡が残る

2 鯖街道の起点 ～湊町・小浜の賑わい～

小浜は、日本海沿岸各地や海外をつなぐ「海の道」と、京や奈良の都とつながる「陸の道」を結ぶ、国内でも最大級の港町として、さまざまな物資や人、文化が行き交いました。

今も残る古い町並みや祭り、伝統工芸などから、当時のにぎわいぶりがうかがえます。



建物や街路に近世の城下町の面影を残す「小浜西組」

3 針畑越え ～最古の鯖街道の歴史的景観～

若狭と京都を結ぶ最短ルート「針畑越え」の周辺には、古くからの神社仏閣が集まり、奈良・京都とのつながりを示す歴史的な景観を今も残しています。



針畑峠（上根来）を抜け京都を目指す「針畑越え」

4 若狭の浦々に続く鯖街道 ～都の祭りや伝統を守り伝える集落～

街道沿いの集落には、それぞれに四季折々の民俗行事や伝統的な食文化が今も根付いています。


「地藏盆」は京都から伝わり、今も夏に市内各地で営まれている





OBAMA STORY LOOP

イベントの最新情報は
右の二次元コードから



今年3月に、鯖街道の起点・旧いづみ町商店街（広峰）を通る「小浜縦貫線」の拡幅工事が完了する予定です。

開通を記念して、3月19日④・20日⑤に、記念イベント「OBAMA STORY LOOP」を開催します。

長大なサバズしをテープに見立てた「サバズしテープカット」、のほか、サバグルメや、鯖街道沿道の宿場町で作られた工芸作品の販売などを行います。

「新たな鯖街道」の誕生を機会に、あらためて、鯖街道の魅力を体感してみましよう！

OBAMA STORY LOOP

▶とき 3月19日④・20日⑤ 10時～16時 ▶ところ 鯖街道ミュージアム（広峰）周辺ほか

<p>19日④ 9時50分～ 小浜よっぱらいサバズし テープカット</p> <p>幅12mの道路にまたがる、長さ11.38mのサバズしをテープに見立てて、開通を祝してカットします。</p>	<p>19日④ 10時10分～ ミニ鯖街道ウォーク</p> <p>サバズしカットを合図に、上根来区の鯖街道登山口まで、鯖街道の道のりを実際に歩きます。</p>	<p>両日とも随時 鯖街道起点 クイズラリー</p> <p>旧いづみ町商店街周辺を巡り、鯖街道にちなんだクイズに答えます。正解者には抽選でさば缶をプレゼント。</p>	<p>両日とも随時 360度映像で体験する 鯖街道</p> <p>体験者が自由に360度を見渡せる映像で、鯖街道「針畑越え」の見どころを疑似体験できます。</p>
--	---	---	---

※上記以外にも催しを予定しています ※新型コロナウイルス感染症の影響などにより、内容が変更・中止になる場合があります

関連イベント

3月の第2日曜日は**鯖街道の日**！
道の駅で記念イベントを開催します！

■問い合わせ 商工観光課 ☎64・6020

毎年3月の第2日曜日は、「鯖街道の日」です。鯖街道のルート1つ「若狭街道」が通る、小浜市、若狭町、高島市、京都市では、今年も連携イベントを開催します。

街道沿いの道の駅などで、マルシェ、スタンプ

ラリー、郷土料理や特産品の販売、記念イベントなど、特色ある企画が目白押し！

大人も子どもも一緒に、「鯖街道」の魅力を発見する食の旅へ出かけましょう。

道の駅「若狭おばま」

▶とき 3月13日⑤ 9時～15時
▶内容
①ミチフリマーケット&朝市
新鮮な農産物の販売やフリーマーケット
②【数量限定】焼きサバズし特売
通常1,296円の焼きサバズしを380円で販売。
11時38分から、38本限定！（お一人様1本のみ）

その他会場

▶とき 3月5日④～13日⑤
▶内容
各会場を巡るスタンプラリーなど
※会場や内容について、詳細や最新の情報は、鯖街道の日プロジェクトのHP (<https://www.go-sabakaido.com/>) を参照

※新型コロナウイルス感染症の影響などにより、内容が変更・中止になる場合があります

まずは知り、体験しよう 「御食国若狭と鯖街道」の魅力

世界に誇れる「日常」

「御食国若狭と鯖街道」の構成文化財（3P）には、今も私たちの日々の生活に息づいている、食や文化、風習、祭礼などが多く含まれています。これらは、私たちから見れば、ごく身近にある「日常」に過ぎません。しかし、世界から見れば、この「日常」が特別で素敵なものとして、実際に見たい・体験したいと思わせる魅力にあふれています。



私たちにできること

今後も日本遺産を生かした取り組みを進めるには、皆さん一人ひとりが、地域の文化や風習に誇りを感じ、大切に育むことが必要です。まずは、私たちの文化や風習についてあらためて知り、体験することで、その魅力を体感することから始めましょう。

イベントで体感してみよう

鯖街道ミュージアム（広峰）は、皆さんに鯖街道の魅力を知らせてもらい、まち歩きなどを通じてその魅力を体感してもらうための施設です。この3月には、同ミュージアム前や周辺で、鯖街道にまつわるイベントを開催します。ぜひ、この機会に鯖街道の魅力に触れてみてください。

詳細は次のページで

インタビュー



小浜の魅力を世界に発信する
ベーウィッグ・ジョシュアさん

アメリカ出身の54歳。県外で訪日外国人向けツアーガイドなどを経験し、昨年9月に小浜に移住。現在はおばま観光局でインバウンド開発・広報部長を務める

日常にある魅力に誇りを

小浜の魅力を、会員制交流サイト「フェイスブック」やブログ「鯖街道トラベラー」などで海外に発信し、観光につなげる仕事をしています。

小浜の食や伝統的な建物、神社仏閣、宿や体験、魅力的な景色などを、写真や映像に収め、詳しい内容や歴史を英語で紹介しています。

私が小浜に来て最初に魅力を感じたのは、海がきれいなこと。特に青井区から加斗地区に続く海岸線が私のお気に入りです。アメリカなら別荘地にもなっているような美しい海が、昔ながらの風情を残したままであることに驚きました。

近年の世界の観光業界では、

「体験旅行」がトレンドです。単に名所を見て回るだけでなく、その地に残る文化や歴史に実際に触れ、感じることに価値があるのです。

小浜には、伝統的な食や建物、昔ながらの景観が、人々の実生活の中に残っているところが素晴らしい。

たとえば、三丁町の町家には実際に人が住んでいるし、昔の風情が残る漁港も、そこで働く人にとっては生活の場です。

皆さんにとっては当たり前な日常が、実は、とても貴重で魅力的なものなのです。

皆さんに、この日常の魅力に気付いてもらい、誇りを持って守って欲しいですね。